

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

■大学院 経済学研究科 経済学専攻

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
<p>【修士課程】 経済学研究科（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。</p>
<p>（教育内容）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 経済分析、政策・地域、世界経済の3コースを設け、学生が選好するコースを中心に体系的・系統的な研究が可能となるよう授業科目を配置し、教育効果が最大限に発揮できるよう配慮している。2. 経済学研究科の教育内容は、経済学部教育内容を基礎にした展開課程として、両者の教育内容の関連性、適切性を念頭において設定している。3. 修士課程の教育内容と博士後期課程の教育内容について、両者の関連性と適切性に配慮して制度設計している。4. 学生の自由かつ広範な研究を可能とするため、他研究科の授業科目を履修することができる。
<p>（教育方法）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 講義科目、演習科目共に少人数教育を採用する。2. 学生の専修科目に対応する演習科目を設定し、研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。3. 諸外国の大学院との交流や留学生等への配慮から、 Semester制とする。
<p>（学修成果の評価）</p> <p>経済学研究科（修士課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、修士論文・博士論文の成果評価割合等により行います。2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布により行います。
<p>【博士後期課程】 経済学研究科（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。</p>
<p>（教育内容）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識の修得に合致した授業科目を配置し、研究指導を行う。2. 経済学部及び修士課程の教育内容を基礎に、その展開課程として、両者の教育内容の関連性、適切性に配慮して制度設計している。
<p>（教育方法）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 講義科目、演習科目共に少人数教育を採用する。2. 学生の専修科目に対応する演習科目を設定し、研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。
<p>（学修成果の評価）</p> <p>経済学研究科（博士後期課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、卒業論文・卒業研究（修士論文・博士論文）の成果評価割合等により行います。2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行います。